

3年目の協賛者さまが決まりました

妊娠中のママさんたちが産前から地域の子育て支援者とのつながりづくりを支援する『マタニティボックスTipu(ティプ)』。2023年7月にスタートしたこの事業は、抽選で毎月10名の方に無料進呈しており、3年目となる今年もおかげさまで、個人・企業20社様よりご協賛をいただきました。「地域の子育て支援を担いたい、子育て世帯とのつながりを持ちたい」という個人・企業の皆さまのご協力をお待ちしております。



第3回(8月3日)両親学級を開催

2025年8月3日(水)、3回目の両親学級を開催いたしました。今回の講師は、出張専門助産院アンダンテの根本靖子先生。講座では、赤ちゃんのお肌や身体の仕組み、沐浴の仕方を丁寧に教えていただきました。小さな赤ちゃんの人形を使って、各自が沐浴を実際に体験することで「産後のイメージが出来た」「間違えたときにその場で指摘してもらえてよかった」などの感想が。今後も妊娠期のご家族に向けた両親学級を無料で開催いたします。



もっと気軽にぽぼらすへ

私たちの運営する『親と子のサードプレイス ぽぼらす』では、もっと多くの皆さまに気軽にご利用いただきたいという思いから、2025年9月16日より会員登録料金を改定いたしました。物価高が進む今だからこそ、「気軽に行ける場所」「親と子の頼れる居場所」として、より多くの方にご利用いただければ嬉しく思います。

会員登録料【旧料金】5,000円
【新料金】2,500円(半額となります)



パパ会が大好評

2025年8月30日(土)、毎回大好評のパパ会を開催しました。今回のテーマは感触遊びということで、寒天やはるさめなどに触れて「ぐにやぐにや」「つつつ」を触って体験。初めての感触に戸惑う子ども達も、パパさんたちの同じ目線に立った声かけと上手な盛り上げで、最後にはみんな笑顔で楽しんでいました。仕事で忙しい中でも子ども達と関わる時間を大切にしているパパさんたち。全力で楽しむ姿が印象的でした。



地域事業者さまとの協働を進めています

私たちはバラエティ豊かな地域の施設や事業者さまの連携や協働を進めています。2025年8月2日には仙台市内の農家トータスファームさんが生産したとうもろこしでの食育活動、8月16日は宮城野区榴岡図書館とのブックトレードイベント、8月29日には市内在住の専門家『GuuMin』只野先生を招いての子どもの睡眠講座を開催しました。それぞれのイベントに興味を持つ方々にお集まりいただき、大変好評でした。今後も地域で協働するイベントを企画しています。



インストラクターフォローアップ研修

2025年9月7日(日)、MaRU所属のベビーケアインストラクター向け、今年度4回目のフォローアップ研修を実施し、総勢25名が参加しました。インストラクターたちはそれぞれに、子育て支援施設や保育園の現場、または自身主宰のベビーケア教室などで活動しています。新たな知識や技術を習得し、今後の活動に活かすことだけでなく、基礎に立ち返り、活動の理念や思いを共有することで安心して活動できるような支援を進めています。



学生ボランティアの受け入れをスタート

MaRUでは、学生ボランティアの受け入れを始めました。『ぼぼらす』で、子どもたちとふれあい、親子と関わる現場を体験してもらいます。若い世代が参加することで、地域での学びと支え合いがより豊かに広がることを願っています。先日は、ぼぼらすの一大イベントである夏祭りに仙台青葉学院短期大学子ども学科の皆さんが協力してくださいました。未来の子育て支援者とともに、地域の力を育てていきます。



『Pocci!』を通じ支援をいただきました

古紙をリサイクルする際に生まれる価値を集めて地域の子どもたちを応援するWEB上のプラットフォーム『Pocci!』様に地域団体として掲載いただいておりますが、そちらを通してさまざまな企業さまよりご支援をいただいております。ご支援は、親子イベントで使用する工作や遊びに必要な小物の購入など、乳幼児期の子どもたちが親子で五感を使って楽しめる活動の材料費として活用させていただいております。



第3期を終えて

代表理事 大橋 香朱美

MaRUは9月末で3期目を終えることができました。応援してくださる地域企業の皆さま、そして、MaRUの想いに共感し一緒に活動してくれるママやパパたち。そして、これからの子育て支援を考える女性たち。たくさんの方々に支えていただき、MaRUは活動を続けることができています。これからも各事業を通し、宮城仙台の子育て世帯の笑顔を増やせるような活動を進めていきます。どうぞよろしく願いいたします。

発行：一般社団法人子育てプラットフォーム MaRU 2025.10.1